

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月29日

上場会社名 株式会社しまむら  
 コード番号 8227 URL <http://www.shimamura.gr.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野中 正人

問合せ先責任者 (役職名) 企画室長 (氏名) 関 信太郎

TEL 048-652-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年7月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	115,729	11.6	10,355	34.0	10,688	34.9	5,883	58.0
24年2月期第1四半期	103,682	0.0	7,729	△5.9	7,921	△5.5	3,724	△21.1

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 5,955百万円 (64.6%) 24年2月期第1四半期 3,617百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	159.99	—
24年2月期第1四半期	101.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	318,747	228,901	71.8	6,224.35
24年2月期	277,647	225,611	81.3	6,134.55

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 228,901百万円 24年2月期 225,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	64.00	—	72.00	136.00
25年2月期	—				
25年2月期(予想)		68.00	—	68.00	136.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	240,332	7.3	21,700	11.9	22,500	12.8	12,820	19.7	348.58
通期	490,000	5.1	46,400	5.6	47,700	5.4	27,200	7.9	739.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	36,913,299 株	24年2月期	36,913,299 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	138,119 株	24年2月期	136,095 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	36,775,723 株	24年2月期1Q	36,780,437 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。  
なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、東北地方で復興への動きが本格化するとともに、自動車・機械産業をはじめとする幅広い企業で業績の回復が鮮明となるなど、震災の打撃から底堅く持ち直してきております。一方、長引く欧州債務問題や中国経済の減速など、世界経済の減退感は根強く、国内のエネルギーコストの上昇や円高の長期化懸念も含めて国内経済の見通しは依然不透明なものとなっております。

#### 1) 消費環境の概要

- ①勤労者世帯の実収入および可処分所得は、年初から4ヶ月連続で前年を上回り、有効求人倍率も前年度から緩やかながらも改善を続けるなど、所得・雇用環境は着実に改善しつつあります。震災直後に大幅に落ち込んだ消費マインドも、前年秋からの回復基調が継続しており、ミセスを中心とした衣料品の消費にも明るさを感じられます。
- ②衣料品の消費に影響を及ぼす天候は、3月、4月の低温と週末のぐずついた天気が、春物の立ち上がりに水を差しましたが、ゴールデンウィークの気温上昇と同時に、春物、初夏物が一斉に動き出し、衣料品業界にはまずまずの天候となりました。

#### 2) 当社グループの状況

このような消費環境のもと、当社グループは持続的な成長を目指して“全体能力の底上げ”を当連結会計年度の統一テーマとし、個々の能力と組織の能力を全体的に底上げして、業績の向上に結び付けるよう努めてまいりました。

#### 3) 主力のしまむら事業

- ①商品のコンセプトを明確にし、「ファッション性」「高品質」「低価格」を併せ持つプライベート・ブランドは、機能・素材にこだわった“ファイバードライ”を柱とし、吸水速乾性に吸放湿性を加えたWドライや、UV機能、接触冷感機能を付加した商品の拡大及び生産管理の改善等の機能・品質向上に努めた結果、当第1四半期連結累計期間のプライベート・ブランドの販売額は前年同期比15.4%増となり、売上全体に占める割合は43.0%に拡大しました。
- ②当第1四半期連結累計期間も積極的に店舗を新設し、13店舗を新たに開設しました。特に都市部への店舗開発に力を入れ、この内9店舗が東京・神奈川・埼玉などの都市部への出店となりました。さらに既存2店舗の建替えと、7店舗で大規模な改装を実施した結果、しまむら事業での店舗数は1,250店舗となり、売上高は前年同期比10.3%増の934億36百万円となりました。

#### 4) アベイル事業

若者向けの感度の高いファッションを扱うアベイル事業は、コーディネートが容易となるようにサイズ・カラーの関連性をもった商品のグループ化を推進し、プライベート・ブランド化も一層強化して客層の拡大と買上点数の増加に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間は3店舗を新規に開設した結果、店舗数は263店舗となり、売上高は前年同期比19.7%増の132億25百万円となりました。

#### 5) バースデイ事業

ベビー・子供用品を扱うバースデイ事業は、引続きブランド化とオリジナル商品の推進及びファッション雑誌やモバイル、インターネット等を活用した広告宣伝に注力し、集客力の向上に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間は1店舗を閉店し、店舗数は126店舗となりましたが、売上高は前年同期比19.1%増で58億38百万円となりました。

#### 6) シャンブル事業

女性のファッション雑貨を扱うシャンブル事業も、引続きブランド化とオリジナル商品の推進及びモバイル等を活用した広告宣伝に注力し、集客力の向上に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間の出店は無く、既存70店舗の営業で、売上高は前年同期比7.4%増の24億31百万円となりました。

#### 7) ディバロ事業

10～20代の女性を主たる顧客層としたカジュアル・シューズを扱う専門店のディバロ事業は、当第1四半期連結累計期間の出店は無く、既存13店舗の営業で、売上高は前年同期比19.6%増の1億45百万円となりました。

8) 以上の結果、当第1四半期連結累計期間の日本国内の業績は、売上高1,150億77百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益103億74百万円(同34.0%増)、経常利益107億21百万円(同35.0%増)、四半期純利益は58億83百万円(同57.0%増)となりました。

9) 海外事業

台湾で事業展開する思夢樂は、プライベート・ブランドの拡大及び販促物と売場の連動による業績向上に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間は2店舗を閉店し、店舗数は33店舗となりましたが、売上高は前年同期比14.1%増(NT\$ベース)の2億42百万NT\$(6億52百万円)となりました。

10) 以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,157億29百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益103億55百万円(同34.0%増)、経常利益106億88百万円(同34.9%増)、四半期純利益は58億83百万円(同58.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、410億99百万円増加し、3,187億47百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加228億83百万円、商品の増加109億29百万円、流動資産のその他の増加32億23百万円、有価証券の増加29億99百万円等によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ、378億9百万円増加し、898億45百万円となりました。これは主として買掛金の増加449億87百万円、未払法人税等の減少60億59百万円等によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ、32億89百万円増加し、2,289億1百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加32億35百万円等によるものです。

2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動及び新規出店等による投資活動、ならびに財務活動を行った結果、前年同四半期連結累計期間末に比べ146億9百万円減少し500億95百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、309億50百万円増加し、337億6百万円となりました。これはたな卸資産の増加額109億30百万円、法人税等の支払額102億73百万円等に対し、仕入債務の増加額449億87百万円、税金等調整前四半期純利益102億57百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、274億65百万円増加し、281億92百万円となりました。これは差入保証金の回収による収入9億78百万円等に対し、有価証券の取得による支出270億円、有形固定資産の取得による支出14億41百万円、差入保証金の差入による支出7億94百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、42億25百万円増加し、66億29百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出40億円、配当金の支払額26億11百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月5日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,211	55,095
売掛金	1,709	3,349
有価証券	54,001	57,001
商品	30,608	41,538
その他	7,837	11,060
流動資産合計	126,368	168,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,393	64,856
土地	33,987	33,980
その他(純額)	4,001	3,729
有形固定資産合計	102,381	102,566
無形固定資産		
のれん	672	597
その他	1,116	1,113
無形固定資産合計	1,789	1,711
投資その他の資産		
差入保証金	35,650	35,444
その他	11,670	11,201
貸倒引当金	△212	△221
投資その他の資産合計	47,107	46,424
固定資産合計	151,279	150,701
資産合計	277,647	318,747
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,263	60,250
1年内返済予定の長期借入金	4,000	2,000
未払法人税等	10,576	4,517
賞与引当金	1,739	3,526
役員賞与引当金	73	17
その他	8,752	9,853
流動負債合計	40,405	80,165
固定負債		
長期借入金	7,800	5,800
退職給付引当金	1,220	1,238
定時社員退職功労引当金	673	692
役員退職慰労引当金	506	490
資産除去債務	1,313	1,341
その他	116	116
固定負債合計	11,630	9,680
負債合計	52,035	89,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,086	17,086
資本剰余金	18,637	18,637
利益剰余金	190,796	194,032
自己株式	△1,104	△1,122
株主資本合計	225,416	228,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	243
為替換算調整勘定	14	23
その他の包括利益累計額合計	195	267
純資産合計	225,611	228,901
負債純資産合計	277,647	318,747



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)
売上高	103,682	115,729
売上原価	70,242	77,551
売上総利益	33,439	38,177
営業収入	211	233
営業総利益	33,651	38,410
販売費及び一般管理費	25,922	28,055
営業利益	7,729	10,355
営業外収益		
受取利息	140	152
受取配当金	5	4
投資有価証券売却益	10	31
配送センター収入	—	94
雑収入	88	104
営業外収益合計	244	388
営業外費用		
支払利息	33	18
貸倒引当金繰入額	6	9
為替差損	4	23
雑損失	8	4
営業外費用合計	52	55
経常利益	7,921	10,688
特別利益		
退職給付引当金戻入額	583	—
受取補償金	—	51
その他	68	5
特別利益合計	652	56
特別損失		
固定資産除売却損	18	75
減損損失	—	7
災害による損失	577	11
災害義援金等	488	—
災害損失引当金繰入額	449	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	320	—
投資有価証券評価損	218	389
その他	21	4
特別損失合計	2,093	487
税金等調整前四半期純利益	6,479	10,257
法人税等	2,755	4,373
少数株主損益調整前四半期純利益	3,724	5,883
四半期純利益	3,724	5,883

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,724	5,883
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△106	63
為替換算調整勘定	—	8
その他の包括利益合計	△106	71
四半期包括利益	3,617	5,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,617	5,955
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,479	10,257
減価償却費	1,197	1,209
減損損失	—	7
のれん償却額	74	74
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,757	1,787
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△48	△56
災害損失引当金の増減額(△は減少)	449	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△551	18
定時社員退職功労引当金の増減額(△は減少)	19	19
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	△15
受取利息及び受取配当金	△145	△157
支払利息	33	18
為替差損益(△は益)	—	14
固定資産除売却損益(△は益)	0	23
投資有価証券評価損益(△は益)	218	389
災害損失	254	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	320	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,293	△1,639
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,068	△10,930
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△11	△3,074
仕入債務の増減額(△は減少)	11,003	44,987
その他の流動負債の増減額(△は減少)	794	999
その他	22	55
小計	11,519	43,996
利息及び配当金の受取額	32	24
利息の支払額	△60	△41
法人税等の支払額	△8,734	△10,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,755	33,706
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△27,000
有形固定資産の取得による支出	△1,257	△1,441
差入保証金の差入による支出	△442	△794
差入保証金の回収による収入	976	978
その他	△4	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△727	△28,192
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△4,000
自己株式の取得による支出	△3	△18
配当金の支払額	△2,399	△2,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,403	△6,629
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△374	△1,116
現金及び現金同等物の期首残高	65,080	51,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,705	50,095

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。